

研究ユニット一覧

	主任研究者	国籍	ユニット名
1	銅谷賢治博士	日本	神経計算ユニット
2	柳田充弘博士	日本	G0 細胞ユニット
3	シドニー・ブレナー博士	イギリス	分子遺伝学ユニット
4	丸山一郎博士	日本	情報処理生物学ユニット
5	内藤隆之博士	日本	分子神経科学ユニット
6	ロバート・シンクレア博士	オーストラリア	数理生物学ユニット
7	政井一郎博士	日本	神経発生ユニット
8	クラウス・シュティーフエル博士	オーストリア	理論・実験神経生物学ユニット
9	ジェフ・ウィッケンス博士	ニュージーランド	神経生物学研究ユニット
10	ゲイル・トリップ博士	ニュージーランド	発達神経生物学ユニット
11	ゴードン・アーバスノット博士	イギリス	行動の脳機構ユニット
12	エリック・デ・シュッター博士	ベルギー	計算脳科学ユニット
13	ファデル・サマテ博士	フランス	細胞膜通過輸送研究ユニット
14	高橋智幸博士	日本	細胞分子シナプス機能ユニット
15	メリー・アン・プライス博士	アメリカ	発生分化シグナル研究ユニット
16	佐藤矩行博士	日本	マリングenomックスユニット
17	ジョナサン・ミラー博士	アメリカ	物理生物学ユニット
18	ホルガー・イェンケコダマ博士 *	ドイツ	進化システム生物学ユニット
19	北野宏明博士	日本	オープンバイオロジーユニット
20	アレクサンダー・ミケエエブ博士 *	アメリカ	生態・進化学ユニット
21	御手洗哲司博士 *	日本	海洋生態物理学ユニット
22	ウルフ・スコグランド博士	スウェーデン	構造細胞生物学ユニット

\* 若手代表研究者

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

## 共同研究契約一覧

番号	相手方
1	国立大学法人琉球大学
2	独立行政法人理化学研究所
3	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
4	国立大学法人京都大学
5	(株)国際電気通信基礎技術研究所
6	自動車メーカー基礎研究所
7	自動車メーカー研究所
8	自動車メーカー基礎研究所
9	国立大学法人京都大学
10	国立大学法人広島大学
11	学校法人久留米大学
12	学校法人日本医科大学
13	国立大学法人大阪大学
14	学校法人慶応大学
15	オタワ大学
16	オタゴ大学
17	国立大学法人新潟大学
18	国立大学法人琉球大学
19	半導体関連会社
20	リオデジャネイロ大学
21	INSTITUTE OF MOLECULAR AND CELL BIOLOGY
22	国立大学法人東京工業大学

## 受託研究契約一覧

番号	件名	委託者
1	分裂酵母におけるメタボロームの基礎技術の開発	科学技術振興機構
2	生物系科学分野に関する学術振興方策及び学術動向の調査研究	日本学術振興機構
3	シンカイヒバリガイ <i>Bathymodiolus azoricus</i> のゲノム科学的解析: 化学合成細菌共生と極限環境応答のメカニズムの解明	科学技術振興機構

平成21年度 国際ワークショップ一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
1	2009年5月13日-15日	国際ワークショップ 「量子力学の基礎と応用」	外村彰 (OIST)	チェン・ニン・ヤン (清華大学名誉教授) 1957年ノーベル物理学賞 ピーター・グリュンベルグ (ユーリヒ総合研究機構名誉教授) 2007年ノーベル物理学賞 クラウス・フォン・クリッツィン (マックス・プランク研究所教授) 1985年ノーベル物理学賞 他16名 (OIST主催者1名を含む)	OIST シーサイドハウス	講演者 19名 (海外10, 日本 9) 参加者 20名 (海外 6, 日本14) 聴講者 2名 (海外 1, 日本 1) 合計 41名 (海外17, 日本24)
2	2009年6月15日-7月2日	国際サマースクール 「沖縄計算神経科学コース2009」	エリック・デ・シュッター (OIST) 銅谷賢治 (OIST) クラウス・シュティエフェル (OIST) ジェフ・ウィッケンズ (OIST)	マイケル・ハウザー (ロンドン大学 ユニバーシティ・カレッジ教授) ダニエル・ウォルバート (ケンブリッジ大学教授) 他16名 (OIST主催者4名を含む)	OIST シーサイドハウス	講演者 18名 (海外15, 日本3) フェーダー 8名 (海外 8, 日本0) 参加者 29名 (海外24, 日本5) 合計 55名 (海外47, 日本8)
3	2009年9月8日-10日	国際ワークショップ 「強化学習の脳神経メカニズムと注意欠陥多動性障害 (ADHD)」	ゲイル・トリップ (OIST)	-	OIST シーサイドハウス	講演者 12名 (海外11, 日本1) 参加者 16名 (海外 8, 日本8) 聴講者 5名 (海外 5, 日本0) 合計 33名 (海外24, 日本9)
4	2009年11月2日-7日	国際ワークショップ 「DNAトポロジー」	ロバート・シンクレア (OIST)	-	OIST シーサイドハウス	講演者 14名 (海外12, 日本2) 参加者 23名 (海外21, 日本2) 合計 37名 (海外33, 日本4)
5	2009年11月9日-12日	国際ワークショップ 「網膜: 神経幹細胞と光受容体の変性」	政井一郎 (OIST)	-	OIST シーサイドハウス	講演者 15名 (海外10, 日本 5) 参加者 42名 (海外12, 日本30) 合計 57名 (海外22, 日本35)
6	2009年11月29日-12月2日	国際ワークショップ 「第4回分裂と停止の細胞制御」	柳田充弘 (OIST)	-	OIST シーサイドハウス	講演者 41名 (海外13, 日本28) 参加者 31名 (海外 8, 日本23) 合計 72名 (海外21, 日本51)
7	2009年12月7日-12日	国際ウィンタースクール 「生物複雑系の進化コース2009」	シドニー・ブレナー (OIST) 佐藤矩行 (OIST)	ダニエル・ロクサー (カリフォルニア大学バークレー校教授) トーマス・ボッシュ (クリスチャン・アルブレクト大学長) ニバム・パテル (カリフォルニア大学バークレー校教授) マイケル・レヴィン (カリフォルニア大学バークレー校教授) 他6名 (OIST主催者2名を含む)	OIST シーサイドハウス	講演者 10名 (海外 7, 日本 3) 参加者 36名 (海外15, 日本21) 合計 46名 (海外22, 日本24)
8	2010年2月23日-25日	国際ワークショップ 「ガルーダ・ワン」	北野宏明 (OIST)	-	OIST シーサイドハウス	講演者 13名 (海外 7, 日本 6) 参加者 8名 (海外 1, 日本 7) 合計 21名 (海外 8, 日本13)
9	2009年5月25-27日	協賛ワークショップ 「ニューロコンピューティング研究会」	電子情報通信学会 銅谷賢治 (OIST)	-	OIST シーサイドハウス	-
10	2009年6月5日	協賛ワークショップ 「並列生物情報処理イニシアティブオープンワークショップ in 沖縄2009」	IPAB	エリック・デ・シュッター (OIST) 銅谷 賢治 (OIST) 関口 智嗣 (NAIST) 建部 修見 (筑波大学)	OIST シーサイドハウス	-
11	2009年6月21日-25日	協賛学会 「第5回国際ホヤ学会」	佐藤矩行 (OIST)	-	沖縄産業支援センター	-
12	2009年8月9日	協賛ワークショップ 「脳と心のメカニズム」	神経計算ユニット (OIST)	-	ウェルシティ札幌	-
13	2009年12月15日-17日	協賛ウィンタースクール 「生体計算モデル」	北野宏明 (OIST)	-	OIST シーサイドハウス	-
14	2010年1月29日-2月2日	協賛学会 「第5回日中友好幾何学交流会」	宮脇礼子 (東北大学)	-	OIST シーサイドハウス	-

平成21年度 セミナー一覧

開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
1	2009年4月7日 「上皮組織の移動-細胞と組織の機械生物学」	丸山 一郎 (OIST)	ポール 松平 (シンガポール国立大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 18名 (海外 5, 日本13) 合計 19名 (海外 6, 日本13)
2	2009年4月10日 OIST 社内セミナー 「PI計算とRNA干渉」	-	浜野 正浩 (OIST シンクレアユニット)	OIST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 25名 (海外10, 日本15) 合計 26名 (海外10, 日本16)
3	2009年4月10日 OIST 社内セミナー 「単一シナプス小胞から放出された神経伝達物質はポストシナプスの受容体を飽和させるか」	-	江口 工学 (OIST 高橋ユニット)	OIST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 25名 (海外10, 日本15) 合計 26名 (海外10, 日本16)
4	2009年4月21日 「マラリア薬剤とワクチン開発のための大腸菌を利用したマラリア原虫のスポロゾイトタンパク質の発現と構造解析」	ファデル・サマテ (OIST)	ヨン ホ・ユン (横浜市立大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 9名 (海外12, 日本 2) 合計 10名 (海外 8, 日本 2)
5	2009年4月23日 「アフリカツメガエルにおける雌雄で異なる鳴き声のパターン形成」	メリー・アン・ブライス (OIST)	山口 文子 (ボストン大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 30名 (海外12, 日本18) 合計 31名 (海外12, 日本19)
6	2009年4月24日 「鼻が脳に何を伝えるかを見る-覚醒状態のラットとマウスに見られる能動的センシングと匂いのプログラミング」	メリー・アン・ブライス (OIST)	マシュー・ワコヴィアック (ボストン大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 29名 (海外14, 日本14) 合計 29名 (海外15, 日本14)
7	2009年5月11日 「全ゲノム配列の物理学及びゲノム成長と進化の意味」	ジョナサン・ミラー (OIST)	H.C. ポール・リー (台湾国立中央大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 10名 (海外 5, 日本 5) 合計 11名 (海外 6, 日本 5)
8	2009年5月15日 OIST 社内セミナー 「ロボットの行動進化における複数の種交配戦略の出現」	-	ステファン・エルヴィング (OIST 銅谷ユニット)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 35名 (海外16, 日本19) 合計 36名 (海外17, 日本19)
9	2009年5月15日 OIST 社内セミナー 「ヘッジホッグシグナル伝達エフェクターである転写因子Ciの部分分解のメカニズムとその進化的保存性」	-	メリー・アン・ブライス (OIST)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外18, 日本22) 合計 41名 (海外19, 日本22)
10	2009年5月19日 「システム生物学：現状と将来の見通し」	エグゼクティブオフィス	イゴール・ゴリヤニン (英国エジンバラ大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 15名 (海外15, 日本 0) 合計 16名 (海外16, 日本 0)
11	2009年5月25日-26日 ニューロコンピューティング研究会・バイオ情報学研究会・合同ワークショップ 「DNA配列の超保存と極度超保存」	-	ジョナサン・ミラー (OIST)	OIST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 45名 (海外 5, 日本40) 合計 46名 (海外 6, 日本40)
12	2009年5月28日 「細胞内物質輸送のモデリングにおける結合排他過程」	ジョナサン・ミラー (OIST)	コンスタンティノス・ツェコウラス (米国ライス大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 8名 (海外 6, 日本 2) 合計 9名 (海外 7, 日本 2)
13	2009年6月10日 「逐次選択技法による全方位到来方向推定」	ジョナサン・ミラー (OIST)	エディ・タムフェール (富士通)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 8名 (海外 6, 日本 2) 合計 9名 (海外 7, 日本 2)
14	2009年6月26日 「深海生物と化学合成細菌との共生：共生形成の新たなモデル」	佐藤 矩行 (OIST)	フランソワ・ラリー (パリ第6大学・フランス国立科学研究所)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 16名 (海外 6, 日本10) 合計 17名 (海外 7, 日本10)
15	2009年7月3日 「視床と皮質のニューラルコーディングにおける同調性の役割」	クラウス・シュティーフエル (OIST)	ビン・ワン (ソーク研究所)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 15名 (海外10, 日本 5) 合計 16名 (海外11, 日本 5)
16	2009年7月6日 「-淡蒼球における発火変動性をチャンネル密度分布で説明 - 生理学的及びコンピュータシミュレーションのデータベースを用いたアプローチ」	銅谷 賢治 (OIST)	チェンギス・グナイ (エモリー大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 21名 (海外11, 日本10) 合計 22名 (海外12, 日本10)
17	2009年7月10日 OIST 社内セミナー 「注意欠陥・多動性障害がみられる男児の強化の頻度に対する感受性の違い」	-	ゲイル・トリップ (OIST)	OIST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 25名 (海外11, 日本14) 合計 26名 (海外12, 日本14)
18	2009年7月10日 OIST 社内セミナー 「生きた脳からの定量的ペプチド回収のための改良型精密ろ過プローブ」	-	マイケル・チャンドロ・ロイ (OIST 内藤ユニット)	OIST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 50名 (海外15, 日本35) 合計 51名 (海外16, 日本35)
19	2009年7月13日 「内向き整流性カリウム (Kir) チャネル：構造とメカニズム」	事業推進部	西田 元彦 (ロックフェラー大学)	OIST バイオセンター会議室	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外10, 日本10) 合計 21名 (海外10, 日本11)
20	2009年7月15日 「分子電子トモグラフィーとは？」	事業推進部	ウルフ・スコグランド (カロリンスカ研究所)	OIST バイオセンター会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 20名 (海外10, 日本10) 合計 21名 (海外11, 日本10)
21	2009年7月21日 「活性依存性神経成長円錐ガイダンスと軸索の特性」	事業推進部	西山 誠 (ニューヨーク大学医学部)	OIST バイオセンター会議室	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外10, 日本10) 合計 21名 (海外10, 日本11)
22	2009年7月22日 「有糸分裂染色体の構造と機能」	事業推進部	アレキサンダー・ストロニコフ (米国国立衛生研究所)	OIST バイオセンター会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 20名 (海外10, 日本10) 合計 21名 (海外11, 日本10)
23	2009年7月22日 「中脳ドーパミン細胞の機会設定と過剰予期効果への反応」	ジェフ・ウィッケンス (OIST)	ルカ・アキリ (セント・アンドリュース大学大学院)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 15名 (海外 9, 日本 6) 合計 16名 (海外10, 日本 6)
24	2009年7月23日 「3次元低温電子顕微鏡法により無傷細胞のゲノムと機能の相互関係を示す」	事業推進部	ルイス・コモリ (ローレンスバークレー国立研究所)	OIST バイオセンター会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 20名 (海外10, 日本10) 合計 21名 (海外11, 日本10)
25	2009年7月27日 異文化セミナー	伊藤 圭子 (OIST トリップユニット) 人事課	ウェスリー・上連天 (サンフランシスコ州立大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 24名 (海外 7, 日本17) 合計 25名 (海外 8, 日本17)
26	2009年7月28日 「神経発生におけるパターン形成：個眼クリスタル形成の動的モデル」	メリー・アン・ブライス (OIST)	ニコラス・ベーカー (アルバート・アインシュタイン医科大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 28名 (海外10, 日本18) 合計 29名 (海外11, 日本18)

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
27	2009年7月29日	「ショウジョウバエの成長・ホメオスタシス・癌抑制にみられる細胞間の貪食と競合」	メリー・アン・ブライス (O1ST)	ニコラス・ベーカー (アルバート・アインシュタイン医科大学)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 32名 (海外14, 日本18) 合計 33名 (海外15, 日本18)
28	2009年7月31日	「線条体シナプス可塑性: ドーパミンだけではない」	ゴードン・アーバスノット (O1ST)	ジェームス・サーマイヤー (ノースウエスタン大学)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 20名 (海外10, 日本10) 合計 21名 (海外11, 日本10)
29	2009年8月3日	「皮質処理と神経調節系」	事業推進部	小林 俊輔 (ケンブリッジ大学)	O1ST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 10名 (海外 8, 日本 2) 合計 11名 (海外 8, 日本 3)
30	2009年8月3日	「視覚的意識の神経メカニズムの解明」	事業推進部	アレキサンダー・マイヤー (米国国立精神衛生研究所)	O1ST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 10名 (海外 8, 日本 2) 合計 11名 (海外 9, 日本 2)
31	2009年8月3日	「規則の分離可能な諸要素: 規則に基づく行動は前頭内側部と前頭前野の別々の部位に依存する」	事業推進部	ファーシャド・マンズーリ (理化学研究所脳科学総合研究センター)	O1ST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 10名 (海外 8, 日本 2) 合計 11名 (海外 9, 日本 2)
32	2009年8月3日	「報酬に基づいた意思決定における視覚運動表現の脳活動信号」	事業推進部	イゴール・カーガン (カリフォルニア工科大学)	O1ST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 10名 (海外 8, 日本 2) 合計 11名 (海外 9, 日本 2)
33	2009年8月4日	「行動の切り替えとモニタリングにおける内側前頭前野の役割」	事業推進部	磯田 昌岐 (理化学研究所脳科学総合研究センター)	O1ST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 10名 (海外 8, 日本 2) 合計 11名 (海外 8, 日本 3)
34	2009年8月4日	「視覚的意識と意思決定に関わる視床-皮質間の相互作用」	事業推進部	メラニー・ウィルケ (カリフォルニア工科大学)	O1ST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 10名 (海外 8, 日本 2) 合計 11名 (海外 9, 日本 2)
35	2009年8月5日	ミニシンポジウム 「ショウジョウバエ運動神経回路の形成と可塑性: シナプスから機能まで」	メリー・アン・ブライス (O1ST)	能瀬 遼直 (東京大学)	O1TC サロニウム	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外 5, 日本15) 合計 21名 (海外 5, 日本16)
36	2009年8月5日	ミニシンポジウム 「チロシンホスファターゼ受容体LARはミオシンIIの機能を制御し、軸索ガイダンスに影響を及ぼす」	メリー・アン・ブライス (O1ST)	デイビッド・バン・バクター (ハーバードメディカルスクール)	O1TC サロニウム	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 20名 (海外 5, 日本15) 合計 21名 (海外 6, 日本15)
37	2009年8月5日	「新規行動の獲得決定と発見における段階的ドーパミンシグナルの役割」	ゴードン・アーバスノット (O1ST)	ピーター・レッドグレーブ (英国シェフィールド大学)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 15名 (海外10, 日本 5) 合計 16名 (海外11, 日本 5)
38	2009年8月6日	「皮質質在ニューロンの不規則発火への偏微分方程式によるアプローチ」	クラウス・シュティーフェル (O1ST)	バーナード・エングリッツ (マックスプランク脳研究所)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 21名 (海外15, 日本 6) 合計 22名 (海外16, 日本 6)
39	2009年8月17日	「樹状突起のシグナル伝達をシステム神経科学と行動に関連づける」	事業推進部	バーン・クーン (プリンストン大学)	O1ST バイオセンター会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 10名 (海外 8, 日本 2) 合計 11名 (海外 9, 日本 2)
40	2009年9月11日	O1ST 社内セミナー 「システムバイオロジーはいかにして細菌二次代謝の進化を理解するのに役立つか」	-	ホルガー・イエンケコダマ (O1ST)	O1ST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 35名 (海外25, 日本10) 合計 36名 (海外26, 日本10)
41	2009年9月11日	O1ST 社内セミナー 「静止状態細胞のメタボローム解析」	-	トマーシュ・ブルスカル (O1ST 柳田ユニット)	O1ST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外25, 日本15) 合計 41名 (海外26, 日本15)
42	2009年9月14日	「ラット線条体のアセチルコリン作動性抑制性細胞の神経支配」	ゴードン・アーバスノット (O1ST)	レイチェル・サイズモア (オタゴ大学)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 12名 (海外 7, 日本 5) 合計 13名 (海外 8, 日本 5)
43	2009年10月16日	O1ST 社内セミナー 「神経成長因子シグナルは、あらかじめ形成されたTrkAホモダイマーにより細胞内に伝達される」	-	沈 建英 (O1ST 丸山ユニット)	O1ST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 32名 (海外 9, 日本23) 合計 33名 (海外10, 日本23)
44	2009年10月16日	O1ST 社内セミナー 「コユビミドリイシ・ゲノムプロジェクト」	-	新里 宙也 (O1ST 佐藤ユニット)	O1ST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 48名 (海外27, 日本21) 合計 49名 (海外27, 日本22)
45	2009年10月26日	「有頸脊椎動物のHox遺伝子クラスターと脊椎動物Hox遺伝子クラスターの進化」	丸山 一郎 (O1ST)	ピラッパ・ヴェンカテッシュ (シンガポール国立分子細胞生物学研究所)	O1ST バイオセンター会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 15名 (海外 7, 日本 8) 合計 16名 (海外 8, 日本 8)
46	2009年11月6日	「非平衡膜電位: 電位差イオン感知を最大限まで上げる」	クラウス・シュティーフェル (O1ST)	アンジェイ・レウエンスタム (フィンランドオーボ・アカデミー大学)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 21名 (海外15, 日本 6) 合計 22名 (海外16, 日本 6)
47	2009年11月13日	「健康と病気時における発達段階での網膜細胞ネットワークの可塑性」	ゴードン・アーバスノット (O1ST)	イブリン・セナガー (英国ニューキャッスル大学)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 18名 (海外13, 日本 5) 合計 19名 (海外14, 日本 5)
48	2009年11月16日	「粘液細菌の新薬開発における利用」	ホルガー・イエンケコダマ (O1ST)	ロルフ・ミュラー (ドイツザールラント大学)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 12名 (海外 6, 日本 6) 合計 13名 (海外 7, 日本 6)
49	2009年11月30日	「小脳プルキンエ細胞可塑性と恒常性に関する細胞構築の役割: 実験とシミュレーション」	エリック・デ・シュッター (O1ST)	トーマス・ローニー (理化学研究所脳科学総合研究センター)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 30名 (海外20, 日本10) 合計 31名 (海外21, 日本10)
50	2009年12月11日	O1ST 社内セミナー 「自由に移動するネズミの新線条体のドーパミン濃度のリアルタイム測定値」	-	李 昱延 (O1ST ウィッケンズユニット)	O1ST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 19名 (海外10, 日本 9) 合計 20名 (海外11, 日本 9)
51	2009年12月11日	O1ST 社内セミナー 「皮質ニューラルネットワークにおける情報処理の神経調節」	-	マリア・イリーナ・ウーシサーリ (O1ST シュティーフェルユニット)	O1ST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 39名 (海外25, 日本14) 合計 40名 (海外26, 日本14)
52	2009年12月14日	「美しいべん毛の世界における特殊なべん毛」	ファデル・サマテ (O1ST)	相沢 慎一 (広島大学)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 9名 (海外 7, 日本 2) 合計 10名 (海外 7, 日本 3)
53	2009年12月15日	「形態を考慮したモデルニューロンのスパイクタイミング依存可塑性」	クラウス・シュティーフェル (O1ST)	ニコランジェロ・イアネラ (理化学研究所脳科学総合研究センター)	O1ST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 17名 (海外 9, 日本 8) 合計 18名 (海外10, 日本 8)

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
54	2009年12月17日	「アイソフォーム依存性トロポモジュリン・トロポミオシンの結合調整メカニズム」	ファデル・サマテ (OIST)	アラ・コスチューコバ (ロバート・ウッド・ジョンソン医学校)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 11名 (海外 8, 日本 3) 合計 12名 (海外 9, 日本 3)
55	2009年12月21日	「嗅覚並列処理経路の2光子イメージング」	銅谷 賢治 (OIST)	永山 晋 (テキサス大学ヒューストン校)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 11名 (海外 3, 日本 8) 合計 12名 (海外 3, 日本 9)
56	2009年12月22日	「シー・エレガンスと幹細胞の内因性アルゴノート結合部位の発見」	エグゼクティブオフィス	ジョン・ヨー (カリフォルニア大学サンディエゴ校)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 25名 (海外23, 日本 2) 合計 26名 (海外24, 日本 2)
57	2010年1月15日	OIST 社内セミナー 「新しい生息地への侵入を促進する通性無性アリによる珍しい有性生殖」	-	アレクサンダー・ミケエブ (OIST)	OIST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 43名 (海外25, 日本18) 合計 44名 (海外26, 日本18)
58	2010年1月15日	OIST 社内セミナー 「5量体細菌べん毛フックキャップ蛋白質の構造と機能」	-	松波 秀行 (OIST サマテユニット)	OIST IRP ラウンジ	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 12名 (海外 5, 日本 7) 合計 13名 (海外 5, 日本 8)
59	2010年1月21日	「ヒトゲノムの進化的に保存されたシス調節エレメントの同定と解析」	ジョナサン・ミラー (OIST)	ピラッパ・ヴェンカテッシュ (シンガポール国立分子細胞生物学研究所)	OIST バイオセンター 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 25名 (海外15, 日本10) 合計 26名 (海外16, 日本10)
60	2010年1月25日	「テクノロジー成熟と経営」	総務課	所 眞理雄 (ソニーコンピュータサイエンス研究所)	OIST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外 5, 日本15) 合計 21名 (海外 5, 日本16)
61	2010年2月10日	「総合ベスト対策管理のためのインパルス制御戦略」	ロバート・シンクレア (OIST)	ポール・ジョージェスク (ヤシ工科大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 5名 (海外 3, 日本 2) 合計 6名 (海外 4, 日本 2)
62	2010年3月5日	「魚類の後胚発生期における皮膚による外線パターンの制御」	政井 一郎 (OIST)	和田 浩則 (PRESTO、独立行政法人 科学技術振興機構)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 14名 (海外 4, 日本10) 合計 15名 (海外 4, 日本11)
63	2010年3月8日	「認知アーキテクチャと合成知能」	エリック・デ・シュッター (OIST)	ヨシユア・バツハ (MicroPsi)	OIST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 35名 (海外25, 日本10) 合計 36名 (海外26, 日本10)
64	2010年3月10日	「生物学的な機能の画像化：ブレイン・コンピュータ・インターフェースと磁気ナノマーカー」	ロバート・シンクレア (OIST)	マインハルト・シリング (ブラウンシュヴァイク工科大学)	OIST キャンパス ラボ 1 D棟 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 14名 (海外 9, 日本 5) 合計 15名 (海外10, 日本 5)
65	2010年3月19日	特別講演 「小脳の電氣的に結合した介在神経細胞ネットワークの特質」	高橋 智幸 (OIST)	アンガス・シルバー (ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)	OIST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 44名 (海外28, 日本16) 合計 45名 (海外29, 日本16)
66	2010年3月23日	マリゲノミックスセミナーシリーズ 「脊椎動物起源の進化過程の解明」	-	佐藤 敦子 (OIST 佐藤ユニット)	OIST キャンパス ラボ 1 C棟 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 24名 (海外 9, 日本15) 合計 25名 (海外 9, 日本16)
67	2010年3月25日	シリーズ 1 「認識論と神経科学」	クラウス・シュティーフェル (OIST)	ジョン・ジェイコブソン (ソーク研究所 & UCSD)	OIST キャンパス ラボ 1 D棟 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 23名 (海外15, 日本 8) 合計 24名 (海外16, 日本 8)
68	2010年3月26日	シリーズ 2 「認識論と神経科学」	クラウス・シュティーフェル (OIST)	ジョン・ジェイコブソン (ソーク研究所 & UCSD)	OIST キャンパス ラボ 1 D棟 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 23名 (海外15, 日本 8) 合計 24名 (海外16, 日本 8)

## 代表研究者及び若手代表研究者 選考基準

### 代表研究者の選考基準

1. 卓越した研究能力を有すること
2. 博士号または同等の学位を有すること
3. 大学院レベルでの、質の高い教育実績を有すること
4. 大学院生の指導における優れた実績を有すること
5. 研究、教育、カリキュラムの策定及びその他の関連活動における、指導力を発揮した実績を有すること
6. 外部研究資金を獲得する能力を有すること
7. 特許の取得や起業の能力を有すること
8. 同僚、学生等、周りの人と協調し、有効な関係を維持する能力を有すること  
これには若手スタッフの育成を含む
9. 他の研究グループと積極的に交流し協調する意欲を有すること

### 若手代表研究者の選考基準

1. 卓越した研究能力を有すること
2. 博士号または同等の学位を有すること
3. 大学院レベルでの、質の高い教育実績を有すること
4. 大学院生を指導する能力を有すること
5. 独立した研究プログラムを率いた実績を有すること
6. 外部研究資金を獲得する能力を有すること
7. 特許の取得や起業の能力を有すること
8. 同僚、学生等、周りの人と協調し、有効な関係を維持する能力を有すること
9. 他の研究グループと積極的に交流し協調する意欲を有すること

日本人と外国人の比率は約 50 : 50 を維持する。

沖縄科学技術研究基盤整備機構は、職員の雇用における機会の均等、差別撤廃を掲げており、女性の応募を奨励している。

### 採用の条件

代表研究者又は若手代表研究者のいずれかの職位で採用する。採用基準は、上記のとおりである。初回の任期は5年であり、任期に対して予算が付与される。これには、代表研究者、研究スタッフの給与、機器及び運営費用が含まれる。研究プログラムはすべて5年ごとに評価が行われ、業績が挙げられている研究については更新される。平成24年に大学院大学へ移行した後の代表研究者及び若手代表研究者の職位については、テニユア・トラックの教授、准教授、助教に移行する予定である。

平成21年度 研究職員採用一覧

役職別	人数
主任研究者	5 名
研究員	21 名
技術員	10 名
計	36 名

年代別	人数
20代	5 名
30代	24 名
40代	4 名
50代	1 名
60代	2 名
計	36 名

性別	人数
男性	29 名
女性	7 名
計	36 名

国別	人数
日本	19 名
アメリカ	3 名
イタリア	2 名
スウェーデン	2 名
フランス	2 名
オーストリア	1 名
韓国	1 名
中国	1 名
ドイツ	1 名
ブラジル	1 名
ベラルーシ	1 名
メキシコ	1 名
ロシア	1 名
合計	36 名



2009年にOISTより発表された論文の掲載誌、インパクトファクター一覧

	学術誌タイトル	インパクトファクター (Web of Science JCR 2008 による)	発表論文数
1	Nature reviews Molecular Cell Biology	35.423	1
2	Nature Biotechnology	22.297	1
3	Lancet Neurology	14.27	1
4	Neuron	14.17	1
5	Trends in Cell Biology	13.385	1
6	Molecular systems biology	12.243	2
7	Genome Research	10.176	1
8	PROCEEDINGS OF THE NATIONAL ACADEMY OF SCIENCES OF THE UNITED STATES OF AMERICA	9.38	2
9	Journal of Neuroscience	7.452	4
10	Journal of Cell Science	6.247	1
11	Cerebral Cortex	5.907	1
12	Plos Computational Biology	5.895	1
13	Journal of Physiology	4.649	2
14	Developmental Biology	4.416	2
15	Physics Today	3.674	1
16	Journal of the Royal Society Interface	3.621	1
17	Neuropharmacology	3.383	1
18	Reviews in the Neurosciences	3.188	1
19	BEHAVIOURAL BRAIN RESEARCH	3.171	2
20	Genes to Cells	3.137	1
21	Journal of neuroscience research	3.086	1
22	Neuroinformatics	2.889	2
23	Journal of Computational Neuroscience	2.75	1
24	Biochemical and biophysical research communications	2.648	1
25	Neuroscience Research	2.473	1

	学術誌タイトル	インパクトファクター (Web of Science JCR 2008 による)	発表論文数
26	Development Growth and Differentiation	2.317	1
27	Journal of Applied Physics	2.201	1
28	Experimental Brain Research	2.195	1
29	Development Genes and Evolution	2.171	1
30	Network-Computation in Neural Systems	1.333	1
31	Zoological Science	1.1	1
32	Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section a- Accelerators Spectrometers Detectors and Associated	1.019	1
33	ANNALES DE L INSTITUT HENRI POINCARÉ-ANALYSE NON LINEAIRE	0.878	1
34	Experimental Animals	0.711	1
35	Acta Crystallographica Section F- Structural Biology and Crystallization Communications	0.606	1
36	Neural Network World	0.395	1
-	BEHAVIORAL AND BRAIN	データなし	1
-	Frontiers in Neuroinformatics	データなし	1